

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年への取組（新規）
流域名	阿武隈川・会津・磐城・奥久慈の各流域（福島県内全域）
実施箇所及び実施日	福島県郡山市熱海町熱海地内（ユラックス熱海） 平成23年11月13日 新聞記事での連載（5回） 平成23年10月27日～31日
取組の背景及び必要性	<p>平成23年は国連の定める「国際森林年」であり、年間を通じて、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全等について、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされ、従来から行っている森林の公益的機能PR推進の取組を強化し、広く県民に対する普及に努める必要がある。</p> <p>なお、福島県内全域にわたる取組であり、各流域間の連携により取組を推進する。</p>
取組の内容	<p>福島民友新聞社と福島中央TVにおいて、福島県内全域での国際森林年記念事業を展開する計画であったが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故等の影響により、国有林での森林整備の計画は中止となり、「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」のみの開催となった。同シンポジウムには林野庁次長がパネラーとして参加したほか、「福島国有林の森を歩く」をテーマにしたパネルを出展した。</p> <p>また、「ふくしまの森を忘れない」と題した福島県内の国有林の見所を紹介した連載記事への協力を行い、5回にわたって掲載された。</p>
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課 福島県内の各森林管理署、各支署 ：パネル展、新聞掲載記事への情報提供
連携協働相手先・役割	福島民友新聞社、福島中央テレビ ：企画運営

【参考資料】

取組名 国際森林年への取組

- 「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」に参加した県民



- 同シンポジウムで挨拶する沼田林野庁次長



- 沼田林野庁次長は、パネラーとして参加



- 同シンポジウムに出展した「福島県の国有林の森を歩く」をテーマにしたパネル展



- 展示したパネルを見る参加者



- 「ふくしまの森を忘れない」と題した連載記事、県内の国有林を紹介



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育総合対策事業（継続）
流域名	阿武隈川
実施箇所及び実施日	福島県岩瀬郡天栄村大字羽鳥字一本木国有林内 「遊々の森 風車と湖と太古」内、湖地区 平成23年10月11日（火）
取組の背景及び必要性	これまでに引続き、「遊々の森」を活用して森林体験活動を実施することにより、森林に関する知識を高め、地域の森林環境の理解と自然保護に対する意識の高揚を図り、森林環境教育を推進する地元市町村に協力していく。
取組の内容	天栄村立牧本小学校（5，6年生34名）を対象に、森林の働きや森づくり、木材の利用などについて講義を行い、更に「遊々の森」内での林内散策を実施した。
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課・福島森林管理署白河支署 役割：講師派遣及び教材準備、体験指導と補助
連携協働相手先・役割	連携相手先；天栄村、天栄村立牧本小学校 役割：日程、学習体験内容の検討と森林管理署との調整

【参考資料】

取組名	森林環境教育総合対策事業（継続）
-----	------------------



天栄村立牧本小5，6年生への講義



天栄村立牧本小5，6年生への「森のクイズ」

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	フィールド提供等、NGO・ボランティア団体等民間団体が行う森林整備等への支援
流域名	阿武隈川
実施箇所及び実施日	福島県石川郡古殿町 「鎌倉岳」・「古殿町 憩いの森公園」 実施日：平成23年10月29日（土）
取組の背景及び必要性	地域の重要な水源である森林について、国有林として体験フィールドの提供を行い、地域住民及び一般市民に理解を深めてもらう。
取組の内容	<p>福島県及び特定非営利活動法人「あぶくま地域づくり推進機構」が行う「農業用水水源地域保全対策事業」に係る「あぶくまの水源を歩こう」イベントが昨年に引き続き実施された。</p> <p>内容は地元古殿町国有林内の「鎌倉岳」及び鮫川源流の森林内を散策し、農業用水と水源林との関わり一般参加者に理解してもらいながら、併せて森林の様々な働きや国有林について当支署業務課長が講演を行い、最後に「福島県森の案内人」の方々の指導により木工作教室を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課・福島森林管理署白河支署 役割：講師派遣及び森林と水資源等についての講演
連携協働相手先・役割	連携相手先：福島県・特定非営利活動法人「あぶくま地域づくり推進機構」 役割：日程、イベント内容の検討と森林管理署との調整

【参考資料】

取 組 名

フィールド提供等、NGO・ボランティア団体等民間団体が行う森林整備等への支援



福島署白河支署平松業務課長の講演



「森の案内人」の方々による木工作教室

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	民国が連携した森林施業の効率化の推進（継続）
流域名	阿武隈川
実施箇所及び実施日	福島県石川郡古殿町大字大久田字ヲテマ国有林1243林班外（隣接の県行造林地及び個人所有林地） 実施日：平成23年11月28日
取組の背景及び必要性	国有林と民有林との間で森林施業の一体化を図りながら、より効率的な森林整備等に取り組むことが豊かな森林環境づくりや林業の活性化等、地域振興に資することが期待されている。
取組の内容	平成23年2月25日、福島県・古殿町・福島森林管理署白河支署の3者において、「古殿地域森林整備推進協定書」が締結され、本年度について下記の取組みが実施された。 7月：古殿地域森林整備推進協定運営会議の開催（23年度森林整備計画、路網整備計画についての調整） 11月：古殿地域森林整備推進協定運営会議の開催（現地視察） ・国有林内下刈箇所視察 ・国有林内ケヤキ造林地視察 ・民有林（個人所有地）視察 ・県行造林地内の路網整備事業箇所視察（間伐予定箇所）
国有林担当部局・役割	福島森林管理署白河支署：当該協定における協同施業団地内の森林整備計画・路網整備計画についての県・古殿町との調整
連携協働相手先・役割	古殿町・福島県県中農林事務所・阿武隈川流域林業活性化センター 役割：民有林側の森林整備計画・路網整備計画についての森林管理署との調整

【参考資料】

取 組 名 民国が連携した森林施業の効率化の推進（継続）



県行造林地内の路網整備事業実施箇所の視察状況



県行造林地内の路網整備事業実施箇所の視察状況

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	第36回福島県林業祭（林業復興イベント）への参加
流域名	阿武隈川
実施箇所及び実施日	福島県郡山市 福島県林業研究センター 平成23年10月22日（土）
取組の背景及び必要性	森林・林業・林産業の果たす役割についての県民への普及啓発。 特に本年度は東日本大震災と原発事故被害に対する復興が趣旨。
取組の内容	<p>①林業復興シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林ジャーナリトによる講演及び有識者によるパネルディスカッション <p>②林業関係の被害と復興に関する展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林、林業、生産加工施設、海岸防災林等の被害状況 ・被災地での林業事業者の支援活動 ・県産材を使った仮設住宅 ・緊急時モニタリング調査の実施状況 ・これからの林業（集約化、機械化等） <p>③体験、イベント等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きのこ料理実演、飲食ブース ・子供向け木工クラフト、農林水産物展示販売、緑の募金 ・ふるさと森林就業相談会、林業研究センター公開 等
国有林担当部局・役割	福島森林管理署白河支署：イベントへの支援（木工作コーナーの担当及び事前準備）
連携協働相手先・役割	連携先：福島県林業祭実行委員会

【 参 考 資 料 】

取 組 名 第 3 6 回 福 島 県 林 業 祭 (林 業 復 興 イ ベ ン ト) へ の 参 加 (継 続)



国有林コーナー（木工作）



国有林コーナー（木工作）